平成24年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　4576　　URL　http://www.dwti.co.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　日高　有一
問合せ先責任者　(役職名)　取締役総務管理部長　(氏名)　上窪　彩子　　(TEL) 052-218-8785

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月13日　　配当支払開始予定日　　ー
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年12月期第３四半期の業績（平成24年１月１日～平成24年９月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第３四半期	112	462.5	△191	―	△189	―	△189	―
23年12月期第３四半期	20	―	△255	―	△257	―	△257	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第３四半期	△10.79	―
23年12月期第３四半期	△14.89	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第３四半期	477	463	96.7
23年12月期	665	639	95.8

(参考) 自己資本　24年12月期第３四半期　461百万円　23年12月期　637百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成24年12月期の業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112	462.5	△287	―	△287	―	△288	―	△16.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期３Ｑ	17,646,400株	23年12月期	17,498,900株
②　期末自己株式数	24年12月期３Ｑ	―株	23年12月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期３Ｑ	17,599,848株	23年12月期３Ｑ	17,318,900株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……4
２．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
第３四半期累計期間 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における国内経済は、東日本大震災からの復興・復旧の本格化に伴う官公需の増加および、内需の回復が見られました。一方で、個人消費は、エコカー補助金の終了や、天候不順等を要因とした食品価格の高騰などによる消費支出の減少が見られました。また、尖閣諸島の国有化をきっかけに中国との関係が悪化したことによる、輸出や国内生産の減少、現地法人の業績悪化等が懸念されていることや、欧州における債務問題の深刻化による株価低迷や円高基調の継続等、先行きが不透明な状況が続いております。

国内医薬品業界におきましては、大型薬の特許切れ等を背景とした収益確保のための医薬候補品取得に向けたインライセンス活動、事業提携やM&Aが継続しております。このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進しました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験及び緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅲ相臨床試験が実施されております。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定しました。「H-1129」につきましては、ライセンスアウトに向けた活動を進めており、有償による評価用試料の提供等を行いました。 また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

売上高につきましては、「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が第３四半期累計期間に開始されたことにより、マイルストーン収入112百万円(前年同期比462.5%増）を計上し、売上原価にロイヤリティ53百万円を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が129百万円（前年同期比5.8%減）、その他販売費及び一般管理費が121百万円（前年同期比11.9%減）であったことにより、販売費及び一般管理費は250百万円（前年同期比8.9%減）となりました。その結果、営業損失は191百万円（前年同期営業損失255百万円）、経常損失は189百万円（前年同期経常損失257百万円）、四半期純損失は189百万円（前年同期四半期純損失257百万円）となりました。

なお、当第３四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

（イ）ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬(対象疾患)	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 (閉塞性動脈硬化症)	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115	緑内障治療剤 (緑内障)	国内第Ⅲ相臨床試験	興和株式会社

※HMN-214（抗癌剤）について：ライセンスアウト先の日本新薬株式会社により、海外ライセンスアウトが検討されておりますが、現時点でPhaseⅡa以降の臨床試験の計画は未定です。

（ロ）新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
H-1129	緑内障治療剤	化合物最適化完了
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物（緑内障治療剤）	基礎研究
	高血圧治療剤 神経保護剤 粥状動脈硬化治療剤 眼科関連治療剤 抗癌剤等	

② 当期の業績の概況

（イ）売上高、売上原価

売上高につきましては、「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が第３四半期累計期間に開始されたことにより、マイルストーン収入112百万円(前年同期比462.5%増）を計上し、売上原価にロイヤリティ53百万円を計上しました。

（ロ）販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、129百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定しました。「H-1129」につきましては、ライセンスアウトに向けた活動を進めており、有償による評価用試料の提供等を行いました。 また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を実施しました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「HMN-214」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は人件費の減少があったほか、経費削減に努めたこと等により、121百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

これらにより、営業損失は191百万円（前年同期営業損失255百万円）となりました。

（ハ）経常損失、四半期純損失

営業外収益に有償サンプル代収入２百万円を計上したこと等の結果、経常損失は189百万円（前年同期経常損失257百万円）、四半期純損失は189百万円（前年同期四半期純損失257百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から188百万円減少し、477百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前事業年度末に比べ196百万円減少したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第３四半期会計期間末96.8%、前事業年度末97.4%です。

負債は、前事業年度末から12百万円減少し、13百万円となりました。主な要因は未払金が９百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末から176百万円減少し、463百万円となりました。これは、四半期純損失の計上により、利益剰余金が189百万円減少したこと等によるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第３四半期会計期間末97.1%、前事業年度末96.1%です。

（３）業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績につきましては、平成24年２月９日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、未だ上市された医薬品はなく企業存続に足る安定的な収益源を有していないことから、継続的な営業損失の発生及びキャッシュ・フローのマイナスを計上しております。また、研究開発資金確保のための適時適切な資金調達ができる保証はなく、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該事象を解消するため、以下により営業損失の削減及びキャッシュ・フローの改善を行ってまいります。

① 営業損失の削減につきましては、全社的に支出計画を見直すため、組織のスリム化や業務の効率化を推進しコスト削減に努めるとともに、ライセンスアウト活動の推進によるフロントマネー収入獲得に向け、取り組みを実施しております。

② キャッシュ・フローの改善につきましては、平成23年10月３日にマイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社を割当先とする第三者割当による新株予約権の発行を行い、当該資金調達枠を通じてこれまでに38百万円の調達実績があり、さらに当該調達枠の残高は最大375百万円です。また、当社では上記以外にも複数の資金調達活動を同時並行で推進しております。

なお、当第３四半期末時点での「現金及び預金」と「有価証券」の合計額は443百万円であることや、上記施策により、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないものと判断しております。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,244	423,393
有価証券	20,032	20,042
原材料及び貯蔵品	1,201	824
前払費用	4,458	13,638
その他	2,166	3,732
流動資産合計	648,104	461,631
固定資産		
有形固定資産	7,891	6,311
無形固定資産	357	250
投資その他の資産	9,149	8,837
固定資産合計	17,398	15,399
資産合計	665,502	477,030
負債の部		
流動負債		
未払金	14,728	5,498
未払法人税等	3,653	2,064
その他	7,880	6,290
流動負債合計	26,263	13,853
負債合計	26,263	13,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,829	1,298,808
資本剰余金	1,281,829	1,288,808
利益剰余金	△1,936,194	△2,126,151
株主資本合計	637,463	461,464
新株予約権	1,775	1,712
純資産合計	639,239	463,177
負債純資産合計	665,502	477,030

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	20,000	112,500
売上原価	－	53,750
売上総利益	20,000	58,750
販売費及び一般管理費		
研究開発費	136,944	129,036
その他	138,174	121,686
販売費及び一般管理費合計	275,119	250,722
営業損失（△）	△255,119	△191,972
営業外収益		
受取利息	774	392
有償サンプル代収入	－	2,500
その他	366	281
営業外収益合計	1,141	3,174
営業外費用		
株式交付費	－	266
新株予約権発行費	3,000	－
固定資産除却損	－	173
その他	26	0
営業外費用合計	3,026	441
経常損失（△）	△257,004	△189,239
税引前四半期純損失（△）	△257,004	△189,239
法人税、住民税及び事業税	853	717
法人税等合計	853	717
四半期純損失（△）	△257,857	△189,956

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。